

第18回ふくしおべんきょうかい

いつまでも、住み慣れた街で暮らしたい。
～ 超高齢社会で今すべきことは ～

講師

館山市健康福祉部高齢者福祉課
主幹・包括ケア係長

三浦 太郎 氏

日時

平成29年

6月27日(火) 13:30 ~ 15:00

会場

イオンタウン館山 コミュニティホール

定員

先着50名(当日参加可)

費用

無料

申込

館山市地域包括支援センター たてやま
0470 (25) 7191

主催

館山市地域包括支援センター(たてやま・なのはな・いちご)
千葉県中核地域生活支援センターひだまり

協力

館山市

街が存続できなくなるかもしれない――

民間のシンクタンク「日本創成会議」が平成 26 年に公表した「消滅可能性都市」のデータは、全国の地方自治体に大きな衝撃を与えました。館山市の高齢化率はここ数年、かつてないほどのペースで急増し、平成 29 年 4 月 1 日現在で 37.6%に達しました。その一方で人口の流出にも歯止めが掛からず、ピークだった昭和 25 年の 59,424 人と比較してもおよそ 2 割の減少となっており、残念ながら「消滅可能性都市」に名を連ねる結果となってしまいました。



住み慣れた街で暮らすのが一番なのは誰でも同じなのに、一部の人だけが望まぬ理由で離れなければならないのは悲しいことです。今回のふくしおべんきょうかいでは、特に高齢者にスポットを当て、「身寄りがそばにいても」「病気になっても」安心して生活が続けることができる街づくりについて、行政の担当者からお話を伺います。

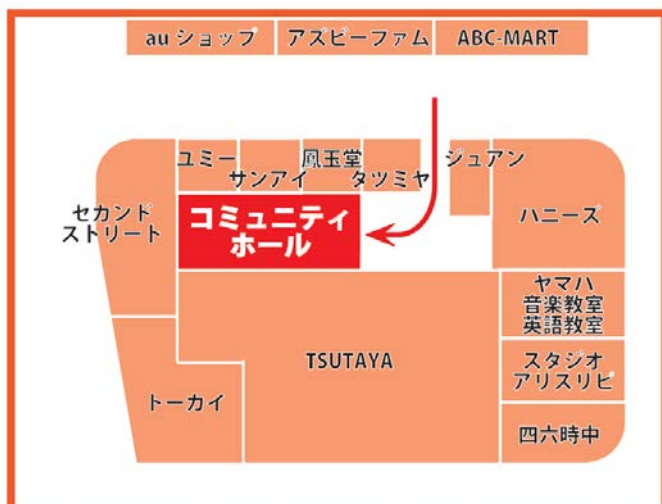
ふくしおべんきょうかいとは？

ふくしおべんきょうかいとは、福祉関係者だけでなく、地域の方々と共に福祉について勉強し、考えていける場をつくりたいという思いから、平成 23 年 11 月に生まれました。

福祉の対象は幅広く、児童・障がい・高齢などがあります。必ずしもそれぞれの分野が連携しているとは言えません。ふくしおべんきょうかいでは、福祉に関わる全ての人とのつながりを作ることを目指します。また、地域全体で福祉について考える場として、福祉関係者と地域とのつながりを大切に、社会福祉の向上に努めます。

[最近のふくしおべんきょうかい]

- 第 13 回：冬場に流行する感染症
- 第 14 回：障害者差別解消法について
- 第 15 回：地域で高めよう 防災意識と近所（近助）のチカラ
- 第 16 回：今、注目のポールウォーキング
- 第 17 回：あなたの食事は大丈夫？



会場のご案内

イオンタウン館山 専門店街
コミュニティホール（館山市八幡 545-1）